

ネットが起こした数学維新

すうじあむむ

11月25日グランドオープン

企画・運営
インフォニック株式会社
<http://infonic.co.jp/>



数学コミュニティサービス『すうじあむむ』 <http://suseum.jp/>

「すうじあむむ」はあらゆる人々が集う、数学における次世代型の博物館であり、AGORA（開かれた広場）です。私達は数学の各場面に見られる鋭い着眼点や切

とといった知的財産を、後期中等教育における日本の文化資源として捉え、それらを広く収集・公開する手助けをします。「すうじあむむ」はインターネットを介して、世界の誰でもあまねく、平等に、貧富の差なく、数学における価値のある情報に触れ、自らも情報を発信し交流できる場を目指します。

「すうじあむむ」の監修者として、長年数学講師の経験を重ねてきた岩澤潔先生（現・駿台予備校京都南校校長）をお迎えしました。自由に情報発信できる「すうじあむむ」の魅力を損なわず、正しい数学の知識を広く伝えることが私達の使命です。

入試過去問データベース

日本の大学受験数学は、質量ともに貴重な教育資源であると考えています。数式は世界共通の言語であることから、これらは日本が世界に発信できる文化資産であるとも言えます。しかしその蓄積、共有の大部分を書籍のみに頼っている現状では、時間と共に情報が失われてしまふ恐れがあり、流通もほぼ国内に限られたものになります。もしくは有志によってインターネット上のコンテンツとなつて共有されているケースもありますが、利用者が閲覧しやすい形で情報を提供し、品質を維持するのは大変な労力を伴います。私達は世界にも類を見ない貴重な資産をデータベースとして広く共有するために、閲覧の簡易さと高い品質の実現に努めます。近い将来、英訳しますアアジア・北米への提供を予定しています。

みんなの投稿(数式コミュニケーション)

インターネットは誰でも自由に情報を発信でき、また受信できる場所です。その双方向性は多くの分野で新たな価値を生み出し、情報検索や共有のあり方を大きく変えつつあります。しかし、こと数学においてはその双方向性はさほど実現されていません。その大きな要因の一つには数式や図の扱いがあります。数式や図をなくして数学の会話は成立しませんが、インターネット上に数式や図を簡単に発信する手段がありませんでした。「すうじあむむ」が可能にした数式コミュニケーションはインターネットと数学の融和を大きく進める一歩となるでしょう。ファンが集い、世界中の数学の情報が集まる次世代型博物館となります。

11/25入試模範解答の公開へ

『すうじあむむ』はサイト運営費捻出のため、入試過去問の解答を販売する形式を取る予定でした。数学講師が作成された解答はそのまま出版できる内容も含まれた著作物であるため、出版社との交渉なども考えるところが最善かと思われたからです。しかし、インターネットの持つ可能性を最大限発揮するには、情報が多くの方に閲覧されることが必要です。また、『すうじあむむ』の目指す社会的な意義を考えるとやはり解答は無料で公開したいと考え、関係各所との調整の末、グランドオープンに合わせて無料公開できる運びとなりました。

「日常の数学」をテーマにコンテストを開催します

みんなの投稿コンテスト

「みんなの投稿」コーナーにて、『日常の数学』というテーマでコンテストを実施します。日常のあらゆる場所に隠れている数学的な事実や発見を、わかりやすい表現で書いた投稿に対して最優秀賞、優秀賞を決定し表彰します。数学なんて勉強して何の役に立つのか、と問いかける人が目の前に転がっている数学に気が付くきっかけになれば幸いです。コンテストの詳細はサイト上に掲載しておりますので、多数のご応募をお待ちしております。